



市議会だより

令和7年
第3回定例会
第294号

令和7年(2025年)
12月1日発行



10月20日に実施した中央大学附属中学校での小金井市議会による出前授業「議員と話してみよう」

一般会計決算は不認定

令和6年度

日曜議会を開催します

平日に傍聴へ来られない方にも議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、各会派の議員が一般質問を行いますので、ぜひお越しください。
日時 12月7日(日) 午前10時から
場所 議場(市役所本庁舎4階)
その他 手話通訳を行います。

市立保育園条例 賛成多数で可決

2園閉園・3園定員を各70名に縮減
4つの役割を定義

第3回定例会の概要

令和7年第3回定例会(斎藤康夫議長)は、9月1日に開会し、10月7日に閉会しました。

令和6年度歳入歳出決算について

一般会計の歳入総額は、597億7千751万6千円(前年度対比12・6%増)、3つの特別会計(国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計)を含めると836億2千602万千円となりました。また、一般会計の歳出総額は572億9千903万円(前年度対比12・1%増)、3つの特別会計を含めると807億5千959万3千円となりました。
下水道事業会計の収益的収入は20億4千256万2千円、収益的支出は19億5千238万6千円、資本的収入は1億65万9千円、資本的支出は3億8千638万9千円となりました。
9月1日の本会議において、決算特別委員会(水谷たかこ委員長)に付託し、9月29日から10月3日の5日間、約36時間にわたり審査を行いました。
10月7日の本会議では、一般会計については、起立採決の結果、起立少数により不認定となりました。
3つの特別会計は、起立採決の結果、起立多数により認定しました。また、下水道事業会計については、採決の結果、認定しました。

小金井市立保育園条例を可決

本条例は、「小金井市立保育園の在り方に関する方針」に基づき、市立保育園の定員を変更し、2園(くりのみ保育園及びさくら保育園)を閉園するものです。
9月2日の本会議において、厚生文教委員会(沖浦あつし委員長)に付託し、計3回にわたり審査を行いました。9月23日の委員会では、本条例を継続審査とすることを諮りましたがこれを否決した後、原案について起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。
9月25日の本会議では、本条例について厚生文教委員会への再付託を求める動議が提出され、これを否決した後、原案について起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

令和7年度一般会計補正予算(第4回)を可決

本補正予算は、一般会計予算を27億2千624万6千円増額し、補正後の歳入歳出予算総額を565億2千58万2千円とするものです。
9月2日の本会議において、予算特別委員会(片山かおる委員長)に付託し、9月17日の委員会では審査を行いました。
9月26日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

▼認知症のある人の社会参加推進事業に要する経費(530万7千円)

認知症のある人が、生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、社会参加の機会を確保する施策を展開するため、認知症がある人が参加できるワークショップを実施し、意見聴取するものです。

(3面に審議結果)

令和7年第3回 定例会日誌

1日	本会議(陳情の採決、議員提出議案の採決、議案の審議・委員会付託・採決)
2日	本会議(議案の審議・委員会付託・採決)
3日	本会議(議案の審議・委員会付託)
4日	本会議(一般質問)
5日	本会議(一般質問)
8日	本会議(一般質問、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
9日	本会議(議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
10日	議会運営委員会
11日	厚生文教委員会
12日	建設環境委員会
16日	総務企画委員会
17日	予算特別委員会
18日	庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会
19日	本会議(陳情の訂正、市長報告)
20日	本会議(市長報告)
22日	建設環境委員会
23日	厚生文教委員会
25日	本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議)
26日	本会議(委員会付託案件の採決、議案の採決、議員提出議案の審議・採決)
29日	厚生文教委員会
29日	決算特別委員会
30日	決算特別委員会
1日	決算特別委員会
2日	決算特別委員会
3日	決算特別委員会
7日	本会議(緊急質問、委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)



審議した主な議案

令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について

決算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

ながとり太郎 (こがおも)

賛成の主な理由は、①市長が掲げた4つの重点課題への取組、②DXや市報こがねいの全面リニューアル、③子育て・教育環境の充実、④まちづくりの推進、⑤人材育成とコミュニケーションが進んだからである。課題はあるものの、持続可能な小金井市政の運営を期待して賛成する。

反対討論 (要旨)

沖浦あつし (みらい)

事業の単なる賛否ではなく、改善点を指摘しながらも、総合的に行政効果が認められる場合は賛成する立場だが、過年度に渡り再三指摘し、顕在化した事業構築の甘さに対し、トップマネジメントとして有効な手立てを講じなかった結果、職員の無用な労力と疲弊があらわになったことは看過できず、反対する。

賛成討論 (要旨)

清水 学 (自民街仲)

認定の大きな要因は、市長の優先整備路線への考えが変わったことである。従前は「必要性は感じない」との見解が、市の独自検証の結果、小金井3・4・11号線は「必要性は否めない」と変えた。西岡前市長時代から、命を守る道路として必要性を訴え続けてきたため、私の中では非常に大きな意味を持つ。

反対討論 (要旨)

吹春やすたか (自由民主党)

検証結果の疑問点はその後の質疑でも解消されていない。客観性公平性透明性は担保されず、将来に禍根を残す検証である。

反対討論 (要旨)

藤川賢治 (見える化)

①公立保育園廃園条例の無効判決を曲解し原告児童一人のみを通わせ他の園児募集の再開無し。再開しても条例に反しない。②都市計画道路3・4・11号線優先整備路線を市は防災の観点から必要としているが今すぐ既存道路を整備すればよい。③予防接種費が効果検証も無く増大健康被害情報も広く周知すべき。

反対討論 (要旨)

坂井えつ子 (緑・つながる)

市長報告もその撤回も、市政執行の最高責任者としては考えられない軽い行いで、許容の範囲を超えた。撤回に至るまでの過程が不適切だった。新年度都の橋梁等概略設計委託が終わった折に、市として自然環境が守られるように関わりを検討するとしているが、同じ事を起こさぬよう努めることを求める。

令和7年度一般会計補正予算(第4回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

吉良のりこ (みらい)

認知症の方の社会参加推進と発症予防のために、民間や市民団体と連携し、当事者・家族が参加しての企画づくりを評価する。あわせて認可外保育施設助成で安心な保育環境を整え、多様な人が交流できるインクルーシブな公園づくりを進める点を高く評価し賛成する。

賛成討論 (要旨)

遠藤百合子 (自由民主党)

市民の命と暮らしを守るための項目が含まれている重要な補正予算である。

認知症のある人の社会参加推進事業費や介護予防・フレイル予防普及啓発強化事業費が組み込まれていること。また、産後ケア事業委託費や市立公園体験活動支援委託料等が入っていることから賛成とする。

反対討論 (要旨)

森戸よう子 (日本共産党)

市民、保護者の理解が得られておらず、説明責任が果たせていない。子育ての悩みの相談相手になるなど、保護者の抱え所、新たな事業の拡大をするのに、保育士を減らして役割が担えるのか。専決処分は違法・無効という司法の判断を無視した市長の責任は重大である。

賛成討論 (要旨)

天野かな (みらい)

人口減少や市の財政状況、新たな役割を果たすための必要処置であること及び在園児や民間園を利用する保護者との公平性にも配慮があることを踏まえ賛成する。ただし、持続可能でより質の高い保育環境の構築のために新体制の早期確立、在園児への心理的ケア、民間施設との連携強化は強く要望する。

反対討論 (要旨)

片山かおる (子ども／情報)

2園廃園、3園の大幅定員減の本条例は、前市長より悪質な白井版廃園条例であり明確な公約違反である。2024年2月の東京地裁判決文を読み上げる。現在の廃園条例を有効とするこ

とは背理、とされている。司法軽視せず判決に沿って正常な保育行政に戻すため、継続審議とし十分な検討を行うべきである。

賛成討論 (要旨)

河野麻美 (自由民主党)

民間園が市の保育の中核を担っている現実を踏まえ「民でできることは民で」の理念に基づき、公立自ら定員数を是正した点は評価する。しかし新方針は絵に描いた餅の側面があり、公立園の新たな役割や市の体制整備には多くの課題が残る。不断の検証と改善を重ね、柔軟な制度運営を進めることを求める。

反対討論 (要旨)

村上ようすけ (れいわ新選組)

「市民の尊厳と権利」及び「すべての子どもの最善の利益保障」を侵害する内容であり、「子どもの権利条例」にも反するものだ。最大の目的とされている「4つの役割の実現」の実効性が担保されておらず、行政としての支援準備が不十分で公民の保育現場の負担増に繋がりが、関係者の要望に反する。

賛成討論 (要旨)

小林正樹 (公明党)

現有の施設や職員といった限られた資源を最大限活用するための方針であり、市立保育園を単純に廃止するものではなく、地域の民間保育施設とも連携し市全体で質の高い保育を実施できるものと評価する。在園児が卒園するまでの間、最善の保育となるよう寄り添っていただく事を心よりお願い申し上げます。

賛成討論 (要旨)

水合たかこ (こがおも)

市立保育園の役割を定義して職員を確保し、市全体の保育の質を維持・向上する持続可能な仕組みを作るためには、今定例

閉会中の委員会日程及び審査案件

議会運営委員会

10月17日(金) 午前10時
11月25日(火) 午後2時
審査案件: 4件
建設環境委員会
10月27日(月) 午前10時
審査案件: 11件
厚生文教委員会
11月6日(木) 午前10時
審査案件: 14件

総務企画委員会

11月11日(火) 午前10時
審査案件: 6件
庁舎等建設及び公共施設
マネジメント推進調査特別委員会
11月12日(水) 午前10時
審査案件: 10件

※各委員会の審査案件はこちらからご覧いただけます。



議会報告会を開催します

同じ内容で、2会場で開催します

開催日 令和8年1月17日(土)
①午後1時から 桜町上水会館
②午後7時から 小金井 宮地楽器ホール小ホール
※詳細は決まり次第、市議会ホームページに記載いたします。

議員研修会を開催します

この研修は市民の方にも公開しますので、ぜひ、ご参加ください。

テーマ 広報・広聴研修
日時 令和8年1月15日(木) 午後2時から
場所 小金井市役所本庁舎3階 第一会議室
講師 河井 孝仁氏(東海大学客員教授)
定員 40名(当日先着順)
問合先 議会事務局庶務調査係 ☎042-387-9947

請願・陳情の審議結果（その2）			○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長（原則、採決には加わらず）																				議決結果					
			み		自		共		公		子		お		参	ネ	街	れ	見	緑	付託先							
			天野かなし	沖浦あつし	吉良のりこ	岸田正義	鈴木成夫	河野麻美	吹春やすたか	遠藤百合子	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	太田宏徳	中井れい子	小林正樹	渡辺大三	片山かおる	水谷たかこ	ながとり太郎		斎藤康夫		安田けいこ	清水学	村上ようすけ	藤川賢治	坂井えつ子
件名																												
2024年2月の裁判結果を尊重し公立5園を存続させ、園児募集再開を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 2024年2月の裁判結果を尊重し公立5園を存続させ、園児募集再開を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
『乳児等通園支援事業（いわゆる「こども誰でも通園制度」）』に関わる陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 『乳児等通園支援事業（いわゆる「こども誰でも通園制度」）』に関わる陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
小金井市第一庁舎にエレベーター設置を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
小金井市議会は国会に対し地方税法343条が定める固定資産税の廃止を求める意見書を提出するよう求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
陳情者は小金井市議会に対し「小金井市長宛ての市民の声」制度の廃止の働きかけを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	総	不採択
障がい者への「〔仮称〕交通手当」の検討状況等について議会として確認していただくことを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	○	厚	不採択
選挙時の法定ビラの配布方法の規制緩和について国に意見書を提出していただくことを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	総	不採択
核保有国による攻撃的行為の停止と平和構築のための要望書提出に関する陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	議	○	×	△	×	×	総	不採択
小金井市立保育園の「廃園条例」の専決処分と事務執行について事務の検査を実施していただくことを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 小金井市立保育園の「廃園条例」の専決処分と事務執行について事務の検査を実施していただくことを求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
小金井市立保育園の「廃園条例」の専決処分と事務執行について監査の請求をしていただくことを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 小金井市立保育園の「廃園条例」の専決処分と事務執行について監査の請求をしていただくことを求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
議案第44号「小金井市立保育園条例」の審査にあたり学識経験者による専門的調査の実施を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 議案第44号「小金井市立保育園条例」の審査にあたり学識経験者による専門的調査の実施を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
議案第44号「小金井市立保育園条例」の審査にあたり公聴会の開催を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 議案第44号「小金井市立保育園条例」の審査にあたり公聴会の開催を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
議案第44号「小金井市立保育園条例」の審査にあたり参考人の意見聴取を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 議案第44号「小金井市立保育園条例」の審査にあたり参考人の意見聴取を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
公立保育園の在り方に関して、小金井市における保育内容・保育需要等を十分に検討したうえで条例改正を行うことを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 公立保育園の在り方に関して、小金井市における保育内容・保育需要等を十分に検討したうえで条例改正を行うことを求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
公立保育園の今後の在り方の検討にあたり、取り進め方の課題を解決したうえでの条例審議を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 公立保育園の今後の在り方の検討にあたり、取り進め方の課題を解決したうえでの条例審議を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
公立保育園の課題等に関して十分な資料提供や検討を踏まえたうえで条例審議を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 公立保育園の課題等に関して十分な資料提供や検討を踏まえたうえで条例審議を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
市が敗訴した判決結果をきちんと踏まえたうえで、条例改正を行うことを求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 市が敗訴した判決結果をきちんと踏まえたうえで、条例改正を行うことを求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
廃園条例に関する係争中の裁判結果を踏まえたうえで、条例案の審議を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 廃園条例に関する係争中の裁判結果を踏まえたうえで、条例案の審議を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
小金井市民は世界連邦法を受諾したことになるか否かについて聞く陳情書			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	議	×	×	△	×	×	総	不採択
小金井市立保育園の在り方に関する方針に対する陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 小金井市立保育園の在り方に関する方針に対する陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
廃園に向けて段階的縮小が強制されるくりのみ保育園の存続を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 廃園に向けて段階的縮小が強制されるくりのみ保育園の存続を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
小金井市立保育園の在り方に関する方針の再考を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 小金井市立保育園の在り方に関する方針の再考を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
小金井市立保育園の在り方に関する方針より医療ケア児の受け入れに関する陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	厚	不採択
↳ 小金井市立保育園の在り方に関する方針より医療ケア児の受け入れに関する陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×	即	否決
小金井市立保育園の在り方に関する方針に対して、保護者との対話を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	○	厚	不採択
↳ 小金井市立保育園の在り方に関する方針に対して、保護者との対話を求める陳情書について厚生文教委員会への再付託を求める動議（議員提案）			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	○	即	否決
『小金井市立保育園の在り方に関する方針』に対してくりのみ保育園の貴重性から存続と募集再開を求める陳情書			×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	議	○	×	○	○	×		

一般質問

(5面～7面) 9月4日、5日、8日、9日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
〈二次元コードについて〉
スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。なお、休憩を挟んだ議員は2つ(上:前半、下:後半)掲載しています。

会派の略称

(み ら い)	みらいのこがねい	(自 由 民 主 党)	自由民主党小金井
(日 本 共 産 党)	日本共産党小金井市議団	(公 明 党)	小金井市議会公明党
(子 ども / 情 報)	子どもの権利 / 情報公開	(こ が お も)	小金井をおもしろくする会
(生 活 者 ネット)	生活者ネットワーク	(自 民 街 仲)	自民党・街の仲間たち
(れ い わ 新 選 組)	れいわ新選組小金井	(見 え る 化)	小金井市政を見える化する会
(緑・つながる)	緑・つながる小金井		

「布担架」を普及させ 災害発生時に備えを！

吹春やすたか
(自由民主党)



平常時においては消防署と連携し「普通の担架」訓練を行うなどしている事は理解しているが「普通の担架」では大きさや形状により階段を、曲がれない、降りられないのではないかな。

階段を使って搬送する場合を検討しておく必要がある。そのような時「布担架」は場所や状況によっては緊急搬送力を発揮出来る。市議会ではこれまで2度「布担架」を使い震災避難訓練を行っている。小金井市の災害対策を充実させ、発災時に備えるため緊急搬送時に力を発揮できる「布担架」を普及させないか。また、市



市議会で購入した布担架

の職員対象の避難訓練や防災フェスタ等での「布担架」搬送訓練を実施しないか。
部長 担架は傷病者を搬送する上で不可欠な医療器材であり現場の救命率を左右する重要な要素である。提案の「布担架」は一般的な担架と比べて収納性や搬送効率の面で利点がある。その有効性を考慮していく。



インクルーシブ教育を 子ども視点で推進しよう！

村上ようすけ
(れいわ新選組)



インクルーシブ教育は国際的な動向を受け推進されているが国連勧告のとおり、社会全体の価値観を変革させる段階に至らず、個別の特別支援教育の拡充が主で、全ての人間には違いがあるという多様性の概念が浸透していない。「全ての生徒と一緒に学ぶ」環境整備が必要。(ア)増加する児童発達支援施設に市独自の資金助成をしないか。(イ)就学相談における保護者負担への配慮・改善点について問う。(ウ)就学支援委員会からの「就学先提案」の課題・改善点について問う。(エ)一中情緒級のインクルーシブ教育上の改善点、採択済の小学校の情緒級新設の見通しはどうか。(オ)通常級と知的級の交流は対象者も多く対応が必要。課題・対応について問う。(カ)通常級でのインクルーシブ教育の現状を問う。

部長 (ア)現在考えていない。(イ)集合形式の事前説明会を毎年5月に実施、次年度より24時間対応の電子申請システムを導入検討中。(ウ)丁寧な説明で合意形成に努めている。就学先の随時変更も可能である。(エ)通常級との交流を進めている。小学校は準備中。(オ)通常級とは随時、個別に交流中。(カ)学習面での個別配慮を実施中。教員理解を深める。



がん検診の充実など 予防医療の推進を

小林正樹
(公明党)



①超高齢化社会と生活習慣病や医療費の増大が深刻化する中、予防医療に積極的に取り組むことが重要。「データヘルス計画」に掲げられている施策の確実な推進が求められる。特定健診について近隣市との相互乗入れをしないか。
部長 受診項目など金額の違いの課題がある。

②がん検診の受診率は目標達成には至っていない。(ア)特定健診の案内への大腸がん検査キットの同封や、節目年齢に無料クーポンを配布しないか。(イ)府中市を参考に、がん検診の申込はがきを付けた「健康応援が



南部地域の交通便利性の 改善を

太田宏徳
(公明党)



①本市を東西に跨ぐ国分寺崖線は、自然環境や生態系の保全という価値を持つ一方で、生活動線の分断要因となっている。自転車歩行者用道路における国の基準は、勾配率5%から8%。本市の崖線を横断する道路のほとんどが10%以上と基準を逸脱している。既存のルートの他に緩勾配となりうる整備可能な自転車歩行者用ルートはあるか。
部長 沿線の大部分が宅地として利用されており、新たなルートを整備するためには大規模な用地買収が不可欠で、実現が難しい。

②貫井トンネルの車道は勾配率約7%、歩道については約11%とかなりの急勾配。車椅子ではほぼ通行不可能な状態。東京都にバリアフリーに適合した形での改修か新トンネル建設の検討の要望をしないか。
部長 なかなか難しいと考えるが、東京都には伝える。



認知症初期・発達障がい 児への支援を拡充しよう

吉良のりこ
(みらい)



①認知症初期段階では介護認定が低く、サービスを利用しにくい、その放置は孤立や徘徊、金銭管理のトラブルなど生活上の困難、家族の介護負担の増大につながる。早期発見・早期支援の仕組みは。(イ)認知症カフェに加え、常設の拠点整備・ICTを利用した相談体制は。(ウ)地域包括支援センターと家族支援を強化すべきでは。

②市内唯一の児童発達支援センター「きらり」は定員超過で専門相談にも待機が発生している。市内内外の民間療養施設に通う児童もいる中で「きらり」拡充の必要性を訴えた。また、民間保育園は公立保育園同様に要配慮の児童を受け入れている。「きらり」設立当時、事業詳細計画では、民間保育園に各専門家を「きらり」から巡回支援させる計画だったが心理士の巡回のみにとどまっている。保育園での気づきも親が受け入れにくく支援が遅れる課題がある。市として、保育士と児童・保護者の支援、早期療養を拡充させるよう、質疑を通して要望した。



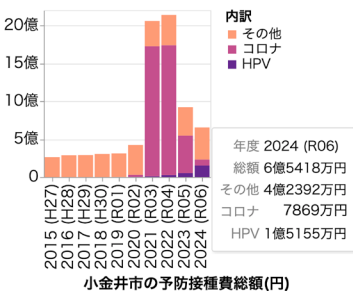
予防接種費がコロナ禍後 高止まり。害伝え抑制を

藤川賢治
(見える化)



市では効果の検証が無いまま予防接種費が増大している実態が判明した。健康被害実態の周知に加え、健康関連情報をデータ化し効果を検証できるようにすることで市民の皆様に打たない選択をしてもらいたい。
①予防接種に関わる費用について、コロナ禍前は3億円前後だった予防接種費が2024年度6億5千万円支出し、そのうちHPVワクチンが1億5千万円と増えている。(ア)HPVワクチンが多いのは何故か。(イ)効果の検証はしているのか。
部長 (ア)ワクチン単価が高額(外税2万7千円)な

こととキャッチアップ接種の駆け込みのため。(イ)検証は国で専門家が審議する。
②予防接種による健康被害の周知について、小金井市でも被害が出ており周知することも予防接種法の主旨に添うのではないか。
部長 被害の周知は違法で無いとの認識だが、市単独の周知は考えていない。



ひとに優しいまちづくり を進めよう

鈴木成夫
(みらい)



(ア)武蔵小金井駅南口点字ブロック上にバス待ちの乗客が並ぶ状況は、視覚障がい者が使いにくいと思うが、担当の見解はどうか。
(イ)当事者参加で、主要な公共施設や駅など、主要施設のユニバーサルデザインレビューを行わないか。
部長 (ア)視覚障がい者が雨にぬれずに歩けるよう誘導ブロックを設置したため現状の形になっている。先日、鈴木議員のご指摘の後、バス事業者に伺ったところ、バス待ちの方が誘導ブロック上を避けて並べるようラインを引く対応を考えていた。



バス停前誘導ブロック付近の状況



議案、意見書・決議を掲載しています。

https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/teireirinji/reiwa7_gikai/reiwa7_gian/index.html



続・ベンチ設置に向けて！



清水学
(市民街仲)

前回の一般質問でも取り上げたが、市道にベンチを設置する際、設置可能な場所はあるか。例えば、区画整理中の梶野通り、東大通りと緑中央通りを結ぶ中央通り(線路沿い)等、ベンチ設置は可能ではないか。また、武蔵小金井駅高架下の小金井街道沿い(建設中の温浴施設付近)も商店会等のベンチ設置は可能ではないか。東小金井駅北口の梶野通りでは歩道が広いので、カフェスペースのようなものができるのではないかと考える。歩道幅員が広い場所は市内でも限られていて、ベンチ設置できるところには設置することを念頭に置き検討していただき、引き続き「ベンチが多い街、小金井市」を目指していただきたい。最後に、商店会のベンチ設置についての相談には乗っていたので、商店会もこれからベンチを増やしていこうという流れがあるようなので、引き続き協力体制で臨んでいきたい。

HPVワクチンの推進／市全体の保育の質向上を



天野かな
(みらい)

①統計データを扱う上で注意すべきバイアスを含め情報伝達における課題を市も十分に認識した上でワクチンの効果及び安全性を正確に発信していくべき。(ア)情報伝達における市の課題認識は、(イ)副反応についての理解促進に加えて継続接種に向けた取組及び情報発信の強化をすべきでは。

部長 (ア)様々な情報の存在は認識している。必要な情報提供に努めて、被接種者が主体的に接種を判断できるように情報発信することが重要であると考え。 (イ)必要な情報を提供し、接種するかどうかが判断できる

障がい福祉サービス利用者へ適切な支援を



沖浦あつし
(みらい)

(ア)相談支援専門員(以下、「支援員」という。)の支援を受けず「セルフプラン」として利用者自ら障がい福祉サービス利用計画書を作成するケースは何例か。(イ)「新規の相談支援をお断りされた」事例がある。相談支援に関する各事業所の状況把握や事例共有、また、自立支援協議会との関係は、(ウ)市内で従事する支援員の人数は十分に足りているか。支援員を増やす方向性は、

部長 (ア)本年9月現在、障がい福祉サービス支給決定を受けている82人の内訳として、介護併用ケアプラン23人、計画相談69人、セ

良質な睡眠啓発と対策を 中学校特別教室に空調を



中井れい子
(公明党)

①日本人の5人に1人が睡眠に問題を抱えているとされる中、よい睡眠がいかに私たちの健康や社会にとって重要であるか、再確認と周知が必要と考える。(ア)睡眠障害についての認識は、(イ)睡眠日誌、記録シートの導入を検討しないか。

部長 (ア)不眠症など、注意力の低下、作業能率の低下など多岐にわたり影響を及ぼす。よりよい睡眠をとることは、心身の健康の保持増進において重要であると考えている。(イ)自分自身の状況の把握、睡眠の見直し、改善につながる可能性があるため、ホームページ

自己肯定感の向上／自転車走行の危険減少へ



遠藤百合子
(自由民主党)

①日本の子どもは他国の子どもに比べて自己肯定感が低く、自信喪失に陥りやすい傾向がある。子どもの自己肯定感と自尊感情の向上が大事な観点である。(ア)保育園・幼稚園での対応は、(イ)小中学校での対応は、(ウ)教育長のお考えは、

部長 (ア)保育者との愛着、信頼関係を基本とし日々の関わりや声がけの在り方を大事にしている。(イ)全ての教育活動の中で自己肯定感を高める指導を行っており、第3次明日の小金井教育プランに基づき取組を進める。

教育長 (ウ)「義務の努力は燃え尽きる、楽しむ努力

きょうだいが同じ保育園に入れるよう指数変更を



水谷たかこ
(こがおも)

公立か民営かを問わず、きょうだいが別々の保育施設に通っている世帯の負担は非常に大きい。(ア)本市の実態を把握しているか。(イ)きょうだいが現に通う保育園に転園を希望する場合の調整指数が標準の指数に与える影響を比較すると、他市区では本市の15倍になっており、きょうだいが同じ施設に通えることを優先する姿勢が表れている。待機児童対策にめどが立ってきたいま、本市でも同じ施設に入りやすいように、調整指数を変更しないか。

部長 (ア)市内保育所に入所している世帯数が約3千

テレワークの推進、駅周辺の路上喫煙防止の啓発



ながとり太郎
(こがおも)

①少子化による人材の確保が難しくなっている中で、小金井市が選ばれる自治体となるには多様な働き方の推進が重要である。(ア)適切な人材を確保できているか。課題はあるか。(イ)多様な働き方の一助となるテレワークについて、実施状況、本格実施に向けた課題は何か。(ウ)それに伴う業務の棚卸し、業務指示方法の改革はできているか。

部長 (ア)一般事務職は相当数の人数は確保できているが、専門職について課題がある。(イ)テレワークの位置づけは、人材確保・離職防止・業務効率化・BCP

市立小中学校の教室を断熱改修しよう



坂井えつ子
(緑・つながる)

①市立小中学校では、学校環境衛生マニュアルに基づき2回温度等の測定をしている。(ア)マニュアルに沿った「各階1以上の教室で検査」するための検討状況は、(イ)今夏の測定状況は、

部長 (ア)授業中の測定や限られた時間での測定など課題がある。現在1台しか保有していない気流計の台数が増やせないか検討する。(イ)7月の温度測定結果で、望ましいという基準から外れたのは2校。一校は、測定時にエアコンが不調だったが、すぐに修繕し今は快適な状況になっている。本町小2階で29度だったが、

猛暑時代への対策として アーバンフォレストを

渡辺大三

(子ども／情報)

猛暑時代は、これまでと異なる発想、手法が必要。都市及び都市近郊の包括的な樹林の概念が「アーバンフォレスト」。(ア)どのような知見を有しているか。(イ)「樹冠被覆率」を高める工夫は。(ウ)OKストアの前はハンカチの木が枯れたり生育が悪く、めっちゃくちゃ。どういう樹種を選ぶかで日陰、木陰が変わる。工夫をしているのか。(エ)枯れた街路樹は撤去されているが、速やかに補植してもらいたい。(オ)武蔵小金井駅北口からnonowa北口は「東京砂漠」で全然街路樹がない。東小金井駅北口もそう。



植えられる場所を見つけて植栽をしないか。

部長 (ア)まち全体を一つの生態系として捉え、あらゆる空間を緑でつなぎ、森のような機能を持たせる考え方と理解。(イ)大きくなり過ぎない、維持管理がなるべくかからない、が条件。樹冠被覆率の向上を踏まえていない。(ウ)高温多湿の下では弱りやすい。別の樹種への植え替えを検討。(エ)既存植栽帯の撤去、抜根。相応の費用を要する。(オ)歩行者のスムーズで安全な通行のため、検討が必要。

■その他、庁舎建設問題の推移を年表にまとめて提出し、責任の所在について質疑を行いました。

熱中症対策として エアコンの購入に助成を

たゆ久貴

(日本共産党)

近年の夏の暑さはますます厳しさを増している。今年の夏の全国の平均気温は平年より2・36度高く、統計のある1898年以降で最も暑かった。小金井市は過去にエアコン購入費助成を行っていた。私は2018年に一般質問でエアコン購入費助成を行うことを小金井市に求めている。その後、市は2020年に新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策を合わせる形で独自の助成を1年限りで行った。エアコンのない65歳以上の高齢者のみ、世帯を対象に、新規でエアコンなどを購入した場



合に、上限5万円まで助成を行った。この取組は本当によかった。是非とも再びやっていただきたいと求める。今は新型コロナウイルス感染症対策ということだけでなく、暑さが増し、熱中症の危険が迫る中において、純粋な熱中症対策として必要な施策ではないか。

東京がエアコン購入費助成を実施している中でも、小金井市として独自に上乗せや横出しをして、例えば高齢者や障がい者だけでなく、生活困窮者など対象を拡大するとか、助成金額を上乗せする等、独自の助成を行うことを求める。

部長 現時点では実施する予定はない。

外国人排斥ではなく 多文化共生社会の実現を

水上洋志

(日本共産党)

①生活保護利用者への支援を求める。(ア)生活保護基準引下げ取消裁判での最高裁判決を受け謝罪と補償を国に求めないか。(イ)夏季一時金などの支給を行うべきではないか。(ウ)外国人が優遇されている事実はあるか。②外国人支援について問う。(ア)外国人支援の実施状況と課題は何か。(イ)学校における外国人支援で現在1名の補助員を増やさないか。(ウ)特別な教育課程に基づく



支援を実施するよう求める。(エ)全国知事会は、排外主義を否定し多文化共生社会をつくることを宣言している。多文化共生社会実現に努力すべきではないか。

部長 (ア)外国人の支援に特化した窓口や部署はない。担当課や国際交流協会の設置は意見として聞く。(イ)採用に向けて準備している。(ウ)本町小の取組を踏まえ、必要な支援に努める。

市長 (エ)多様性を尊重し、全ての市民が暮らしやすい街の実現に調査研究する。■その他、性暴力から身を守ることを含め子どもたちと教員、保育士などへの包括的教育実施を要望しました。

生活保護は生きるための あたり前の権利

片山かおる

(子ども／情報)

①最高裁判決で生活保護基準引き下げは違法と判決されたが政府の謝罪も保護費減額の是正もされていない。地裁判決で違法無効とされた条例をそのままにする小金井市の真似では。(ア)生活保護のしおりの改定は国立市を参考に。(イ)厚生労働省監査の指摘と改善は。(ウ)最高裁判決への見解と基準引き下げの影響額は。

部長 (ア)国立市も参照する。(イ)影響額は試算してない。課長 (イ)的確な訪問調査の実施。査察やケースワーカーの適正人数を訴えていきたい。(ウ)都を通じ国が早く結論を出すことを要望。



②(ア)市立保育園廃園方針の説明会やパブリックコメントの在り方は市民参加条例に適合するか。(イ)市長選公約に関する都市計画道路の説明会を税金で開くのは間違っている。市民参加の在り方の検証を。(ウ)公民館の利用料に関する利用者懇談会での意見、意義は。

部長 (ア)説明会の回数や内容は担当課で判断。(イ)市民参加の周知や理解推進に努める。市民参加推進会議に意見を伺う。(ウ)公民館は社会教育施設であり無料利用継続すべき、使用料徴収により利用控えもあるのではという意見。利用者懇談会は大変意義があった。

外国につながる子どもの 支援、日本語指導の取組

安田けいこ

(生活者ネット)

外国籍の児童生徒数は5年間で1・4倍に増えている。(ア)日本語指導の体制は。(イ)本町小での取組は。(ウ)日本語指導の必要性はどう判断されるか。(エ)本町小で実施している評価の指標DLA(※)は他校でも実施しているか。(オ)選挙での外国人排斥の主張がいじめにつながるのでは。見解と対応は。



本語指導担当教員による指導は7月末までに9名、延べ280回実施した。(ウ)本町小ではDLAを実施。対話型で4つの技能(話す、読む、書く、聞く)を多角的に評価。指導計画を作成し日本語能力の把握に努め、指導計画の見直しを行っている。

(エ)実施していない。(オ)全ての人に人権があり、異なる文化や価値観を尊重し相互理解に基づく異文化理解教育を進めている。※DLA「文化的言語的に多様な背景を持つ外国人児童生徒等のための対話型アセスメント」文科省HPより

■その他、学校香害対策、都市計画道路次期事業化計画について等質問しました。

ムサコ通りの賑わいと 市民まつりの現状を問う

岸田正義

(みらい)

①武蔵小金井駅北口の賑わいに資するためにムサコ通りと再開発で生み出される空地などのオープンスペースを一体的に活用するイメージと計画が必要である。(ア)粕江駅北口のように道路にカフェやベンチを設置して歩行者の滞留や賑わいを創るほこみち制度をムサコ通りに導入しないか。(イ)再開発事業完成時にスタートできるように賑わいに資する社会実証実験を行うべき。



②小金井なかよし市民まつりは令和6年に続き令和7年も中止となった。目指す姿が共有されないまま、いつまでに何をしなければならぬのかバックキャストイングでのスケジューリングやタスク管理ができていない。(ア)市長が令和7年度は必ず実施する方向で検討していると強弁し、会計年度任用職員20万円の増額補正をかけたが結果が出せなかった原因は。(イ)市民協働が専門の副市長が積極的に指導力を発揮するべき。

副市長 (ア)より強固でより持続可能な運営体制構築に見込み以上に時間がかかった。(イ)今回の指摘を今後の市政運営にいかしていく。

包括連携協定について 市制施行70周年に向けて

河野麻美

(自由民主党)

①(ア)包括連携協定は行政、民間互いの強みをいかし地域課題の解決を目指すものだが市民からは実情が見えにくい。協定を締結して終わりではなく市の総合計画と連携させ更に発展させるべきと考えるが今後の連携方針は。(イ)消防団員減少に対応するため入団促進策や広報強化など郵便局との連携を更に強化しないか。



構築できるよう過去の周年事業の成果と課題を踏まえ、早期に庁内組織を整え事業構築していくべきと考えるが見解は。(イ)三宅村との友好盟約も50周年の節目の年を迎えるが友好関係について市民に浸透していない。これを機に紹介動画作成等交流の歩みを形に残す取組の実施を求める。

部長 (ア)課題に沿った連携内容を明確化して成果を検証し関係が深化発展するよう努める。(イ)社員向けの入団説明会を開催予定。

②(ア)令和10年の市政施行70周年に向け地域の絆が再構築できるような過去の周年事業の成果と課題を踏まえ、早期に庁内組織を整え事業構築していくべきと考えるが見解は。(イ)三宅村との友好盟約も50周年の節目の年を迎えるが友好関係について市民に浸透していない。これを機に紹介動画作成等交流の歩みを形に残す取組の実施を求める。

電気代補助を行わないか

森戸よう子

(日本共産党)

①物価高騰に加え、電気料金の負担は重くなっている。低所得者への電気代補助を行わないか。



き備蓄スペースの確保に努めるとともに、関係機関等との災害協定の締結などを進めたい。(イ)震災対策用井戸の重要性に関する広報に努めたい。(ウ)貴重なご意見として受け止める。

③小金井市が実施した都市計画道路に関する検証報告書は問題があり、やり直すべきである。(ア)ヒートアイランド現象の影響調査を行ったのか。(イ)市長は十分な検証によって態度を変えるのか。

部長 (ア)検証は行っていない。

市長 (イ)2路線の考え方は、総合的慎重な判断が必要である。市民説明会等の意見も受けて検討する。

令和4年9月専決処分後の小金井市立保育園条例に関する議会の経過

9月定例会において、小金井市立保育園の在り方に関する方針に基づく議案第44号小金井市立保育園条例、本条例案等に関する市民からの陳情書40件（そのうち陳述39件）を審査しました。

本会議では、審査不十分として提出された再付託の動議を賛成少数で否決、本条例案は賛成多数で可決。40件の陳情書は、賛成少数で不採択になりました。



くりのみ保育園



さくら保育園

市立保育園の在り方の策定

(1) 市立保育園の役割

- ① 4つの役割
- 地域の連携、保育の質の維持・向上を推進する役割
 - 難度の高い保育を率先して担う役割
 - 市立保育園の機能をいかして在宅子育て家庭を支援する役割
 - 緊急時に地域の子どもと保育を守る役割
- ② 役割実施のための対応(保育定員の減員によるスペースの確保)

(2) 園数と保育定員の見直し

	現在	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
さくら	72	※84	72	48	24				
くりのみ	72	72	48	24					
けやき	140	126	113	104	94	84	76	72	70
小金井	114	108	90	86	78	74	72	70	70
わかたけ	112	101	90	85	76	74	72	70	70

※さくら保育園の2歳児定員は条例可決後、0人から12人と定められた

(3) 運営体制

通常の保育業務については、従来の市基準に基づく職員配置を堅持し、新たな役割対応の職員を別に配置する

主な論点

園数(配置)について

- 保育需要と地域的偏り
- 園庭保有率の減少

在園児ケアについて

- 3年間在園児ケアの対応と保護者説明不十分
- 下の学年が居ない影響

障がい児・医療的ケア児の受け入れ体制拡大について

- 要配慮児受入枠11人→18人
- 専任看護師の配置
- ガイドラインの作成と研修

保育士の確保について

- 恒常的な欠員状態の解消
- 4つの役割を担う正規職員の確保

保育定員見直し(減員)について

- 在園児のきょうだいの入園
- 異年齢保育の開始(小金井保育園)

巡回支援・指導監査の実施体制について

- 民間保育園との連携
- 体制構築までのロードマップ

進め方や方針策定について

- 市長公約との関係
- 裁判判決の解釈
- 子どもの権利条例との関係
- 在り方検討委員会の答申の反映状況

公共施設マネジメントの観点

- 老朽化対策への財政的負担
- 4つの役割を実施するスペース
- 跡地利用が決まっていない点
- 市庁舎建設と園舎建替えの優先度

係争中裁判との関係

- 令和6年12月以降、提訴された在園児の保護者12人による国家賠償請求事件

これまでの経過

- 令和4年
- 12月市 専決処分された、くりのみ・さくら保育園を段階的縮小の上、廃園する条例を元に戻す条例を上程
- 議 当該条例を否決
- 令和5年
- 2月市 「小金井市立保育園の在り方検討委員会設置条例」を上程
- 3月議 当該条例を否決
- 6月～市 市立保育園の今後の運営に係る保護者説明会
- 令和6年
- 2月裁 小金井市立保育園廃止処分取消等請求事件の地裁判決
原告に対する利用不許可を取り消す
- 3月市 市長報告 控訴せず、原告のお子さんの入所手続きへ
「小金井市立保育園の在り方検討委員会設置条例」を上程
- 議 当該条例を可決
- 4月市 東京地裁判決を受けて保護者説明会
- 6月～市 第1回小金井市立保育園の在り方検討委員会（全10回開催）
- 令和7年
- 5月市 検討委員会が市長に答申
“小金井市立保育園の役割と在り方について”
- 6月～市 小金井市立保育園の在り方に関する方針(案)・パブリックコメント・市民説明会・保護者説明会
- 7月議 方針(案)に対する全員協議会
- 8月市 小金井市立保育園の在り方に関する方針策定
- 9月市 「小金井市立保育園条例」を上程
- 議 厚生文教委員会で3日間の審査の上、当該条例を可決

市…市の動き 議…議会の動き
裁…裁判判決

都市計画道路3・4・1号線、3・4・11号線に係る経過 その2（令和7年4月以降）

白井市長は2月17日に市長報告を行いました。3月4日に撤回しました。その後の経過です。



令和7年4月以前の経過はこちらを参照
(令和7年第1回定例会議会だより)

8月2、3、4、6、7日 市

都市計画道路に関する市民説明会開催(計5回)

9月6日 市

都市計画道路に関する市長との意見交換会
(都市計画道路に関する市民説明会の参加者からの要望により開催)

9月9日 市議会

「白井市長に、都施行の都市計画道路については、環境への配慮や住民合意がないままに進めないよう東京都に伝えることを求める決議」を可決

9月19日 市

市長報告「優先整備路線の検証及び総合的判断について」(3月4日に撤回後の再整理を踏まえて)

小金井3・4・11号線

・道路整備の必要性は否めない
・国分寺崖線(はけ)、野川及び武蔵野公園の自然環境をできる限り守る
小金井3・4・1号線
・事業化の手続を一旦中止することが妥当であり、更なる検討が必要である

9月25日 市議会

「小金井3・4・11号線外と小金井3・4・1号線を「優先整備路線」としないことを求める意見書」可決(7陳情第68号「小金井3・4・11号線と3・4・1号線を「優先整備路線」としないことを東京都に求める意見書の提出を求める陳情書」採択による)